

令和6年度全国学力・学習状況調査に関する分析

【国語に関する調査の分析・改善方法について】

- ・どの問題形式についても、全国・千葉県の正答率と比べても良い結果だった。特に記述式の問題については、よい結果となっている。また、半分以上の問題で無回答率が0%であり、0%ではない問題についても、全国・千葉県の問題と比べて無回答率が低かった。
- ・文章と図とを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈できるようにする。また、必要に応じて質問しながら、話の内容を捉えることができるようにする。そのために、図表がある場合とない場合を比較する活動を行い、自分の考えを説明したり、筆者の意図について意見を交流したりする。また、話合いの過程に注目させ、展開に応じて互いの発言を結び付けたり、話し合った内容を踏まえて自分の考えをまとめたりできるよう指導する。

【数学に関する調査の分析・改善方法について】

- ・「短答式」「記述式」の問題については、よい結果となっている。特に、「記述式」については、一昨年度、昨年度と年々改善がされている。
- ・「図形」の領域において、筋道を立て証明する力の向上を図る。「データの活用」の領域において、複数の集団のデータの分布の傾向を比較して読み取る力の向上を図る。そのために、図形の単元を扱う際に、各図形に関する定義や性質等を適時復習しながら、学習を進めていく。また、ペアやグループで、証明問題の解答の流れを口頭で説明する活動を取り入れる。また、1,2年次に学習した、「度数分布表」「箱ひげ図」に関する基本的な知識・技能の復習を行う。また、資料から分かることを、口頭で説明したり、文章化する活動を行ったりする。

【質問調査の結果に関する分析・改善方法について】

「本校の強み」

- ・「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか」「友達関係に満足していますか」「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」といった質問に対して肯定的な割合が非常に多く、自己有用感が高い。また、学習に関しての質問を見ると協働的な学びを進めることができている。

「本校の課題」

- ・「平日、1日あたりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで SNS や動画視聴などをしますか」に対して、4時間以上と答えた生徒は全国平均よりも約17%高く、テレビゲームに関しても同様に高い。また、学習時間については1時間未満の生徒が全国平均と比べて約10%高い。そのため、携帯電話やスマートフォンの扱いの改善について、年間指導計画に組み入れるよう生徒指導部で検討する。